

昭和51年10月2日第3種郵便認可(毎月5・15・25日発行) OSTKみんなのしあわせ増刊

発行 障連協定期刊行物協会 購読料1部100円 年間購読料 1200円
〒558-0011 大阪市住吉区苅田5-11-22 TEL (06) 6697-9005 FAX (06) 6697-9059

OSTK
みんなの
しあわせ

2016年4月8日 No.195 (4月号)

よさみの ニュース

よさみ野障害者作業所

〒558-0023大阪市住吉区山之内4-12-31

TEL (06) 6699-7767 FAX (06) 6699-7888

第7回 ふらっと楽しむ“すみよし”



去る、3月19日(土)に住吉区役所にて、第7回ふらっと楽しむ「すみよし」が開催されました。地域ボランティア、福祉施設が集まり、子どもから高齢者まで楽しめる催しとなりました。

ホールでは、ステージ発表や商品販売、屋外では、飲食ブースや車いす体験等があり、どの企画も大にぎわいでした。

よさみ野も授産製品の販売を行いました。たくさんの方にご購入いただきました。本当にありがとうございました。



社会福祉法人はどうなるの？ 社会福祉法一部改正法成立

「社会福祉法等の一部を改正する法律案」が、年度末ぎりぎりの3月31日衆議院で可決・成立し、4月1日から施行されることになりました。

法人の統治機構の変更

このことにより、理事・理事長の役割・権限・義務・責任を明らかにし、評議員会を議決機関として位置づけ、評議員の権限や責任を法律上明記するなど、社会福祉法人内の統治機能の変更を余儀なくされます。

また、法人が保有する資産から事業継続に必要な最低限の財産額を控除した結果、余剰が出る社会福祉法人については、社会福祉事業または公益事業等を行うことを義務付けられることとなります。

施設職員にも影響が！

社会福祉施設職員等退職手当共済制度についても、公費助成対象から障害分野が外されることとなります。

公費助成がなくなることで、職員の退職金の積立を全額法人が負担せざるを得なくなり、そのことで人件費等に影響が及んでしまいかねません。そうなること、ますます人材を確保していくことが困難な状況に陥ってしまいます。

何を規制すべきなのか？

そもそも社会福祉そのものは、国が行うことが前提でありましたが、すべてを国が賄うことができないうために、社会福祉法人がそれを補填する役割を担ってききました。しかしながら、介護保険が実施されて以来、社会福祉事業に民間企業等が参入できるようになり、イコールフットリングの名の下で、社会福祉法人に対する締め付けが強くなってきています。

今回の一部改正で謳われているような財務状況の公表などは当然必要なことでありますが、民間のように収益を株主等の配当に回すようなことにこそ規制をする必要があるのではないのでしょうか。

野の花まつり



去る3月19日に大阪友の会さんの野の花まつりに参加しました。会場では、とん汁や、中華ちまきなどの美味しい食べ物や、あやとりやお手玉などの子どもものあそびコーナーなど大賑わいでした。よさみ野もクッキーの販売をしましたが、こちらも大盛況で、皆さんの売上を上げることができました。ありがとうございました。



**3月23日(水)
 外食取組
 @羊の家**

い悩もれ見奮な店 てん王2
 まみ美にて気か内 ラき「寺班 よ
 したな味しも味はラま羊に「羊にメさ
 。がしよら。た。ちの「家」あるバの
 らそうかとうメニも「の」洋ー作
 楽うか?、ユ、少し、食で業
 しんとこ「ー」し、屋、所
 んど、れどを興、で、行、屋、所
 で、れどを興、で、行、屋、所



気まぐれランチ



牛タンシチュー



オムライス



最後にお店前で、
 記念撮影、パチリ!

食後には、皆でキュー
 ズモー。洋内を散策し
 した。に、目を輝かせ
 リー。あれ、すごいわ
 「よ」と、「俺に似合
 ない」と、「ウインドウ
 な」と、「ウインドウシ
 ピングを楽しみました。
 普段の作業所での雰
 気とは違い、リフレッ
 シユが来たのではな
 いでしようか。

ボランティア募集

土曜取り組み

日にち: 毎月第3土曜日

場所: よさみ野障害者作業所

よさみ野では毎月第3土曜日にお菓子作りや音楽活動を行っています。仲間の介助などを手伝って頂けるボランティアさんを募集しています。

よさみ野ではなかま（利用者）の活動をより充実させていけるように、様々な形でのボランティアを広く募集しています。

ご協力いただける方は、当作業所までご連絡をお願いします。

<連絡先>

よさみ野障害者作業所

6699-7767

御寄付

丸高商店 様

授産製品の材料を提供していただきありがとうございます。

今後の予定 + 自主製品販売

● 定例区役所販売

(毎月第1・3月曜)

日にち: 4月4・18日

場所: 住吉区役所1階

時間: 10:00~15:00

● バリアフリー展

日にち: 4月21(木)~23(土)日

場所: インテックス大阪

時間: 10:00~17:00

是非お越しく下さい!!

ともしび

「保育園落ちた。日本死ね。」というインターネット上での書き込みが波紋を広げています。投稿主は保育園の抽選に漏れてしまい、それが理由で勤め先を辞めなければならぬというので、言葉の良し悪しはともかく、この切実な書き込みは国会でも議論されることとなりました。

待機児童の問題は何年も前から指摘されていますが、いまだに有効な手立てがないのが現状です。というのも、これは単に保育所の数が足りないというだけでなく、もっと様々な方面に関わってくる問題だからです。まず少子化が叫ばれて久しいにも関わらず待機児童が減少しないのは、女性の社会進出が関係

していると考えられます。女性の活躍できる場が増えているのは喜ばしいことですが、その背景には不景気による夫婦共働きの増加や、離婚率の上昇など、やむを得ない事情で働きに出る女性が増えたこともありま

す。子供を預けられないから働けないということは、働ける力があるのに働けないということですので。これは労働力の損失であり、もっと広い視野で見た時に日本全体の経済的損失につながっていくものです。保育や介護はそれ単独ではなく、様々な社会の側面に関連した問題であり、その解決を先延ばしにすることは、日本経済全体の停滞を招いてしまうことにつながりかねません。こうした認識を持って、私たちは小さなことからでも解決策を模索していく必要があるのではないのでしょうか。

(Y)